



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 エスペック株式会社
 コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

上場取引所 東

(氏名) 石田 雅昭
 (氏名) 大島 敬二
 配当支払開始予定日

TEL 06-6358-4741
 平成29年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,396	6.6	1,625	61.1	1,691	103.0	1,165	127.5
29年3月期第2四半期	17,250	6.9	1,009	△11.0	833	△34.6	512	△36.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,468百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △689百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	51.01	—
29年3月期第2四半期	22.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	49,477	37,971	76.7	1,661.17
29年3月期	49,044	37,049	75.5	1,621.00

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 37,971百万円 29年3月期 37,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	24.00	36.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	38.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

30年3月期(予想) 中間配当の内訳 普通配当19円00銭 記念配当 1円00銭
 " 期末配当の内訳 普通配当37円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	11.4	4,400	35.7	4,500	41.9	3,200	43.3	139.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	23,781,394 株	29年3月期	23,781,394 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	922,935 株	29年3月期	925,324 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	22,858,611 株	29年3月期2Q	22,799,153 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済につきましては、米国の通商政策や不安定な世界情勢など先行き不透明な状況が継続しているものの回復傾向にあり、それに伴いわが国経済も輸出が好調に推移するとともに、企業の収益改善や人手不足への対応などを背景に設備投資も拡大基調となりました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは積極的な投資が継続するとともに、エレクトロニクス関連メーカーの投資も好調に推移いたしました。

こうした中、当社はエスベックグループのシナジーにより海外市場での販売拡大に取り組むとともに、エコカーや自動運転技術の開発が加速する自動車や、医薬品を中心とするライフ分野など成長・戦略市場をターゲットとした事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期連結累計期間比で受注高は14.7%増加し22,850百万円、売上高は6.6%増加し18,396百万円となりました。利益面につきましては、増収と原価率の改善により営業利益は61.1%増加し1,625百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は為替差損の減少などにより127.5%増加し1,165百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (30年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	19,914	22,850	14.7
売上高	17,250	18,396	6.6
営業利益	1,009	1,625	61.1
経常利益	833	1,691	103.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	512	1,165	127.5

セグメント別の業績

当第2四半期連結累計期間のセグメント別業績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失 (△) (百万円)
装 置 事 業	19,230	15,355	1,621
サ ー ビ ス 事 業	3,061	2,702	87
そ の 他 事 業	674	439	△82
連 結 消 去	△115	△100	△0
計	22,850	18,396	1,625

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに好調に推移いたしました。海外市場では、輸出および現地子会社ともに好調に推移し、特に中国、米国、韓国において前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。環境試験器全体では受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。

エナジーデバイス装置につきましては、大型案件の受注があった前年同四半期連結累計期間比で受注高は減少いたしました。売上高は前期末受注残の売上計上により増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、スマートフォンや自動車関連メーカーからの受注が好調に推移し受注高は前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。売上高は前年同四半期連結累計期間並みとなりました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は16.5%増加し19,230百万円、売上高は8.2%増加し15,355百万円となりました。営業利益につきましては、増収と原価率の改善により79.9%増加し1,621百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (30年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	16,508	19,230	16.5
売上高	14,188	15,355	8.2
営業利益	901	1,621	79.9

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間並みとなりました。

受託試験・レンタルにつきましては、受注高はテストコンサルティングおよびレンタルが好調に推移し前年同四半期連結累計期間を上回りましたが、売上高は好調であった前年同四半期連結累計期間並みとなりました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は5.3%増加し3,061百万円、売上高は1.3%増加し2,702百万円となりました。営業利益につきましては、販管費の増加などにより42.6%減少し87百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (30年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	2,908	3,061	5.3
売上高	2,666	2,702	1.3
営業利益	152	87	△42.6

<その他事業>

植物工場事業および森づくりが堅調に推移し、受注高は前年同四半期連結累計期間比で8.6%増加し674百万円となりました。売上高は12.6%減少し439百万円、利益面につきましては82百万円の営業損失となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (30年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	621	674	8.6
売上高	502	439	△12.6
営業損失 (△)	△45	△82	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節の変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は49,477百万円で、前連結会計年度末と比べ432百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加1,992百万円、受取手形及び売掛金の減少3,446百万円、仕掛品等のたな卸資産の増加1,028百万円、投資その他の資産の増加774百万円などによるものであります。また、負債は11,505百万円で前連結会計年度末と比べ489百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少871百万円、その他固定負債の増加307百万円などによるものであります。純資産は37,971百万円で前連結会計年度末と比べ922百万円の増加となり、その主な要因は利益剰余金の増加617百万円、その他有価証券評価差額金の増加529百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表した予想数値から修正しております。また、平成30年3月期通期の連結業績が前回発表した予想数値を上回る見込みとなりましたので、期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成29年10月30日）発表の「第2四半期累計期間の連結業績予想値と決算値の差異および通期連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,654	11,647
受取手形及び売掛金	15,123	11,676
電子記録債権	1,564	1,679
有価証券	1,901	1,901
商品及び製品	623	1,163
仕掛品	1,826	2,324
原材料及び貯蔵品	1,862	1,852
その他	2,160	2,313
貸倒引当金	△21	△18
流動資産合計	34,694	34,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,584	3,517
土地	4,455	4,449
その他(純額)	1,787	1,768
有形固定資産合計	9,827	9,735
無形固定資産		
のれん	614	557
その他	346	306
無形固定資産合計	961	864
投資その他の資産	3,560	4,335
固定資産合計	14,349	14,936
資産合計	49,044	49,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,591	1,720
電子記録債務	3,694	3,758
未払法人税等	382	551
賞与引当金	383	373
役員賞与引当金	13	—
製品保証引当金	255	249
受注損失引当金	1	2
資産除去債務	123	123
その他	2,817	2,685
流動負債合計	10,263	9,464
固定負債		
退職給付に係る負債	53	54
役員退職慰労引当金	12	12
資産除去債務	13	14
その他	1,651	1,958
固定負債合計	1,731	2,040
負債合計	11,994	11,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	6,914	6,914
利益剰余金	23,873	24,491
自己株式	△994	△991
株主資本合計	36,689	37,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	1,609
土地再評価差額金	△661	△661
為替換算調整勘定	120	△125
退職給付に係る調整累計額	△179	△161
その他の包括利益累計額合計	359	661
純資産合計	37,049	37,971
負債純資産合計	49,044	49,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	17,250	18,396
売上原価	11,360	11,770
売上総利益	5,889	6,625
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,388	1,476
賞与引当金繰入額	111	112
製品保証引当金繰入額	106	92
のれん償却額	32	32
その他	3,240	3,285
販売費及び一般管理費合計	4,880	4,999
営業利益	1,009	1,625
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	35	39
その他	47	40
営業外収益合計	91	89
営業外費用		
支払利息	0	0
貸倒引当金繰入額	—	6
為替差損	240	6
支払手数料	8	5
その他	18	5
営業外費用合計	267	24
経常利益	833	1,691
特別利益		
固定資産売却益	3	4
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	2
投資有価証券売却損	6	—
特別損失合計	7	2
税金等調整前四半期純利益	829	1,693
法人税、住民税及び事業税	317	527
四半期純利益	512	1,165
親会社株主に帰属する四半期純利益	512	1,165

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	512	1,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	529
為替換算調整勘定	△1,135	△245
退職給付に係る調整額	23	18
その他の包括利益合計	△1,201	302
四半期包括利益	△689	1,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△689	1,468

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	14,186	2,561	502	17,250	—	17,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	105	0	108	△108	—
計	14,188	2,666	502	17,358	△108	17,250
セグメント利益又は セグメント損失(△)	901	152	△45	1,007	1	1,009

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,348	2,609	438	18,396	—	18,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	92	0	100	△100	—
計	15,355	2,702	439	18,496	△100	18,396
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,621	87	△82	1,626	△0	1,625

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。